

連続するデータの推移や変化の傾向を線で結んで表現するグラフです

折れ線グラフは、連続するデータの推移や変化の傾向を線で結んで表現するグラフです。

特に“時間の経過（時系列データ）”を表すのに適しており、増加・減少の動きを直感的に把握できます。

チャートフォーム

インポート 更新

Page 1

ビジュアル 書式設定

1

2

3

4

5

6

7

8

9

X軸 フィールドを追加

計上月

Y軸 フィールドを追加

金額の合計

合計 ▼

凡例 フィールドを追加

営業担当者

計上月と営業担当者の、金額の合計

営業担当者

0010 0021 0024 0038 0045 0052

7,000,000

6,000,000

5,000,000

4,000,000

3,000,000

2,000,000

1,000,000

0

-1,000,000

17-01-... 17-02-... 17-03-... 17-04-... 17-05-... 17-06-... 17-07-... 17-08-... 17-09-... 17-10-... 17-11-... 17-12-...

1.96M 2.06M 1.45M 1.47M 2.54M 2.8M 2.2M 2.77M 1.38M 1.09M 3.87M 2.73M

0% 0% 13.2% 0% 100% 0% 100% 0% 0% 0% 0% 0%

97.0% 100% 72.9% 100% 0% 100% 192K 240K 215K 379K 531K 196K

1.1M 1.39K 316K 1.47M 1.9M 1.42M 1.02M 820K 860K 679K 1.2M 649K

3.01M

閉じる 保存する

◇設定内容

- | | |
|---------------|---|
| 1. X軸 | : X軸はグラフの横軸にあたり、グラフの基準となる項目を示す軸です。 |
| 2. Y軸 | : Y軸はグラフの縦軸にあたり、各項目の数値の大きさを示す軸です。 |
| 3. 凡例 | : 凡例は、指定したフィールドの項目ごとに折れ線グラフを作成して区分します。 |
| 4. フィールドの追加 | : それぞれの項目の対象となるフィールドを指定します。 |
| 5. 数値の種類 | : Y軸の数値の種類を「合計」「最小値」「最大値」「平均」「件数」から選択します。
(※文字型・日付時刻型の場合は「件数」のみ選択可能) |
| 6. グラフタイトル | : グラフタイトルを表示します。
タイトル名、タイトルの位置、文字の書式は「グラフの書式」画面で変更できます。 |
| 7. データラベル | : 凡例ごとの数値の値を表示します。
凡例のON・OFF、文字の書式は「グラフの書式」画面で変更できます。 |
| 8. 《キャンセル》ボタン | : 実行せず画面を閉じます。 |
| 9. 《保存する》ボタン | : チャートを保存します。 |

◇操作ログ

CREATE CHART TYPE "LINE" TABPAGE "ページ番号" X-AXIS TABLE "X軸テーブル" FIELD [X軸フィールド] Y-AXIS TABLE "Y軸テーブル" "数値の種類" FIELD [Y軸フィールド] X-AXIS-ROTATE "n" Y-AXIS-ROTATE "n" DATALABEL "データラベル設定" LEGEND-POSITION "データラベルの位置" TITLE-POSITION "グラフタイトル位置" TITLE-TEXT "チャートタイトル名" WIDTH "n" HEIGHT "n" CHART-X "n" CHART-Y "n" DEFAULTFORMAT CHARTID "チャートID" WITH DATA "チャートファイル名" OPEN

※数値の種類は選択した内容により記述が変わります

数値の種類	□グ
合計	SUM
最小値	MIN
最大値	MAX
平均	AVG
件数	COUNT